

富山の教育から学ぶ

県外教育関係機関研修報告・座談会



10月31日（月）に、県外教育関係機関研修報告・座談会が開かれました。当日は、富山への視察研修参加者20名を含め、76名の参加者があり、とても活発な意見交換が行われました。内容は以下の通りです。

1 全体会Ⅰ

- (1) 開会
- (2) 上伊那教育会長あいさつ 小林 克彦 会長
- (3) 視察研修の概要説明 有賀 和美 先生
(赤穂小学校)

2 座談会

※4つのグループに分かれての分散会

3 全体会Ⅱ

- (1) 各グループで話題になったことの発表
各グループ記録係
- (2) 副会長あいさつ 矢澤 淳 副会長
- (3) 閉会



座談会で話題になったこと

座談会では、

- ・富山市立堀川小学校で行われている「くらしの時間」について
- ・富山市立興南中学校の学力向上について
- ・それぞれの学校の職員の同僚性について

等が話題になり、多くの意見・質問が出されました。

長年にわたって実践発表を続けている堀川小学校は、「自主創造 ーくらしをみつめ 追究する子どもー」を学校教育目標に、子どもたち自身が自らのくらしを作り出していくその過程を全教職員が一丸となって支え、見守っていることがわかってきました。

また、興南中学校では、学校づくりの中核に「学力向上」を据え、生徒も参画させながら教職員が一丸となって前へ進んでいる点に多くの先生方が感銘を受けていました。

そして、富山の教育で参考になる面は取り入れつつ、上伊那でこれまで積み重ねてきた教育をふり返り、大事にしていくことも確認されました。

とても熱心に意見交換が行われ、有意義な会となりました。自ら求めようとする先生方の熱い姿がとても印象的でした。

先生方の感想

・座談会で、実際に参加した先生方からお話をお聞きすることにより、堀川小学校や興南中学校の教育活動の細かな点についてわかりました。参加者の質問についていねいに説明していただきありがたかったです。自らの研修を深めるよい機会となりました。

・報告レポートだけではわからない学校の実際や研修後の実践についての話

を座談会でお聞きすることができました。課題についても他の先生方からお聞きすることができ、受け身になりがちな報告会で終わることなく、問題意識をもって取り組むことができました。

・参加された方でないとわからない学んだ部分を、熱い思いをもって語ってもらったことで、エネルギーをいただいたと思います。子どもに対する思いを徹底してやっていくことの大切さが理解できました。

・ポイントをしばったわかりやすい全体発表、座談会では視察参加者からの詳しい説明、学校全体目標～具体の授業記録のある資料が参考になり、座談会での各先生方のご質問ご意見から今後考えたり実践したりしていくきっかけになりました。

・座談会形式でお話を聞き合えるというのは、研修に参加した先生に気軽に質問させていただけるという面でもとてもいいと思いました。すばらしい学校の様子をお聞きした時に、その学校を特別な学校としてとらえるのではなく、何かを得て上伊那の学校、自分の学校に広めていけるといいと思いました。

・報告の中にあつた「学校で統一して行う取り組みを全職員が徹底して行っている」ということが印象的でした。

